

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【地歴公民／公共】

1. 対象

2. 単元名「公共的な空間における人間としての在り方生き方」（全4時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを理解する。
思考力、判断力、表現力等	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、現実の社会的課題の解決策を見出す活動を通し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察する。
学びに向かう力、人間性等	現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

4. 本時の目標

『功利主義・義務論・公正論』などを活用して、リニア新幹線の開業の是非をロールプレイングを通して多面的、多角的に検討し、よりよい公共空間の実現に向け、事実を基に協働して考察したことを、論拠を持って表現する。

5. 授業展開【 **本時** ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

<b>解決したい課題や問い</b>
リニア新幹線を開業することについて、あなたは賛成か？反対か？ 功利主義・義務論・公正論などを活用して、現実の課題を判断してみよう！

考える材料①（賛成A）	②（賛成B）	③（反対A）	④（反対B）
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界最速の列車を日本の中央に導入し、世界の鉄道をリードする。</li> <li>日本の全人口の半数を最速で結びつける。</li> <li>大規模災害時の代替輸送機関として、パイパスとして増強する。</li> <li>工事・開業で大井川が失う水量を全て戻す。環境への影響も問題ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニアは従来の半分以下の時間で3大都市を移動できる。</li> <li>遠距離通勤・通学・介護が可能になり、観光業も盛んになる。</li> <li>開業により約10兆円→毎年1兆円の経済効果が見込まれる。</li> <li>静岡県の反対で開業が遅れると、経済・社会全体に影響がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事対象の南アルプスには、固有の動植物が生息する。</li> <li>工事で大井川の水量が毎秒2トン失われる可能性がある。</li> <li>大井川は約60万人の生活用水&amp;様々な地場産業の用水である。</li> <li>静岡県には停車駅がなく、県民にはほとんど利益がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9兆円もの建設費がかかる。事業に失敗した時の損失は大きい。</li> <li>リニアの消費電力が従来新幹線より大きい。</li> <li>地下を走るリニアに事故が遭った時のリスクが大きい。</li> <li>新聞社アンケートでは、「リニアは不要」が「必要」を上回る。</li> <li>ストロー現象の懸念</li> </ul>
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
災害大国日本において、最速の輸送機関を導入し、安全なインフラを実現できる。文明は発展し続けるべき。	人口の半数以上の生活・経済に関わる事業で、開業による利益（メリット）が大きい。	リニア開業により、静岡の自然や生活に影響が出る。全体利益のために一部が犠牲となつてはならない。	かかる費用や緊急時のリスク等を検討すれば、開業による不利益（デメリット）が大きい。

## 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

### 対話の方法

概要説明（10分）→4つの資料＝ワークシートの理解・記入

→賛成A・B、反対A・Bの4つの立場でロールプレイ（8分）

→立場を外し、概念を活用して自由に討論（5分）

→レポート記入（15分）

### 対話や思考のプロセス

- ・世界で最も速い鉄道を整備し、国内外の利用者を増やすことで、日本全体の経済を活性化させることができる。最大多数の最大幸福の実現につながるのでは。（功利主義）
- ・より便利で快適な生活のために、リニア新幹線は開業させ、さらに科学技術や文明を発展させるべき。（義務論①）
- ・開業により南アルプスの生態系や環境が壊されてはいけない。どんなに速くて便利であっても、大切な環境は持続的に守り続けるべき。（義務論②）
- ・都市圏の多数派にとって利益があっても、それにより大井川流域の生活や産業にダメージがあってはならない。一部が不幸となり、不公平な扱いを受けるのは避けるべき。（公正論）

## 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・山奥の自然環境や生態系が脅かされるのは、静岡だけでなく他県でも同じはずである。経済効果が不明確な中、持続可能な社会を作るためにも、開業はすべきではないと思う。
- ・確かに3大都市圏を繋いで移動する人が増え、利便性が高まったとしても、その恩恵を受けられない人にとってはメリットよりデメリットのほうが大きい。開業にはやや賛成だが、社会全体の公平性を考えれば、地方や田舎での交通面での利便性を高めることとセットにすべきでは。
- ・もしリニア開業を目指すなら、それにより大井川の地下水が失われることのないよう、しっかり環境影響評価を行い、代替案を具体的に検討すべき。それができないのなら、開業には反対だ。
- ・開業には賛成だが、多大な費用をかけて大規模な工事を行うのだから、それによってできる限り多くの人々が幸せになれるよう利用しやすい工夫や宣伝活動を行って欲しい。そもそもリニア開業について日本全体での関心が低く、これを「社会的な問題」として捉えていないと感じる。まずは知ってもらうことが大事だ。